

すべての「欲しい」を解決する。

scroll

2026年3月期 決算説明資料

FY2025（2025年4月1日～2026年3月31日）

株式会社スクロール

証券コード：8005（東証プライム）

| | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 連結決算ハイライト | P. 2 |
| 2. セグメント別決算ハイライト | P. 8 |
| 3. スクロールグループ中長期ビジョン/FY2026経営計画 | P. 12 |
| 4. キャピタルアロケーション方針/株主還元方針 | P. 20 |
| 5. Appendix | P. 23 |
| ・事業セグメントおよび事業概要 | |
| ・新しいコーポレート・アイデンティティ/キービジュアル | |
| ・会社概要 | |

1. 連結決算ハイライト

ハイライト【連結】

- 連結では増収減益
- 事業整理損やのれんの減損損失等を計上し、当期純利益は大幅減

(単位：百万円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 対前年同期実績 | |
|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|--------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 79,826 | 84,030 | 88,548 | +4,517 | +5.4% |
| 営業利益 (営業利益率) | 5,313 (6.7%) | 6,052 (7.2%) | 5,727 (6.5%) | △324 | △5.4% |
| 経常利益 (経常利益率) | 5,512 (6.9%) | 6,424 (7.6%) | 6,166 (7.0%) | △258 | △4.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,649 | 4,267 | 2,768 | △1,498 | △35.1% |
| 1株当たり当期純利益 | 105.05円 | 124.15円 | 80.71円 | △43.44円 | — |
| ROE | 11.2% | 12.2% | 7.5% | △4.7P | — |

※事業整理損及びのれんの減損損失など1,615百万円を特別損失として計上しております。

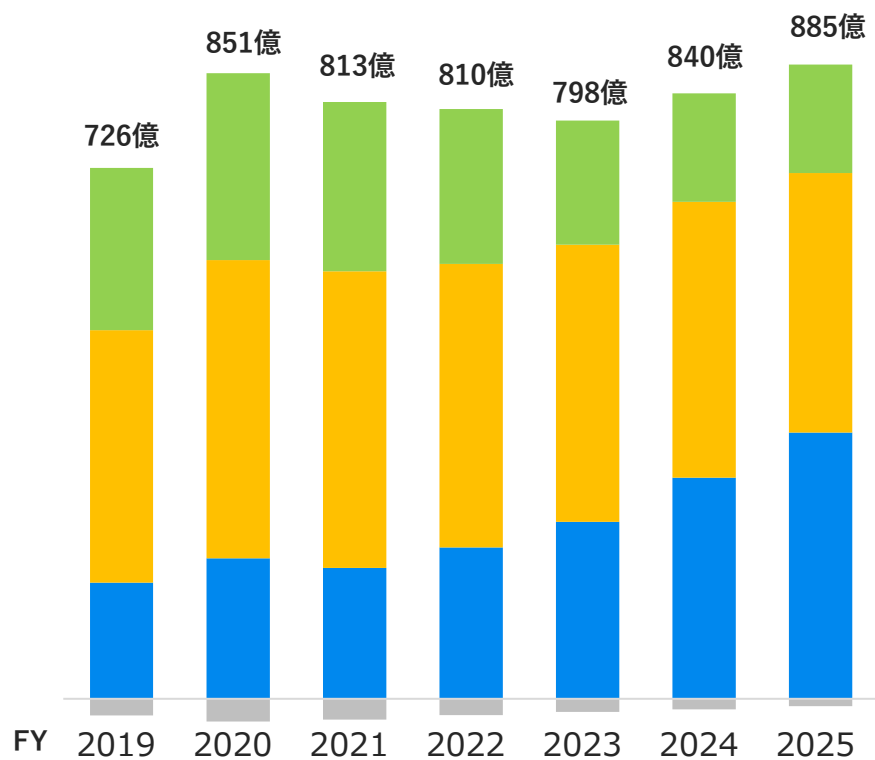
※ △は損失または減少を表します。以下、すべてのページにおいて同様に表記します。

売上高と経常利益の推移（通期）【連結】

- 売上高はソリューション事業の成長により、過去最高
- 経常利益は通販事業の減収減益が全体を押し下げる（前期対比△4.0%）

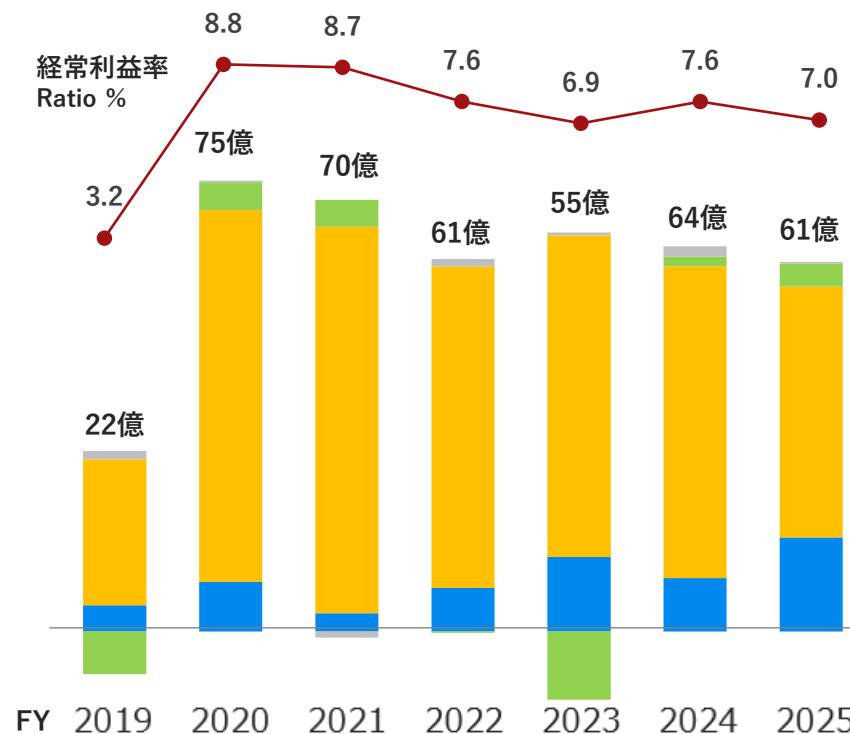
売上高の推移

■ソリューション ■通販 ■eコマース ■その他（連結調整）



経常利益の推移

■ソリューション ■通販 ■eコマース ■その他



貸借対照表の推移【連結】

- 自己資本比率は63.9%（前期比△1.2 pt）

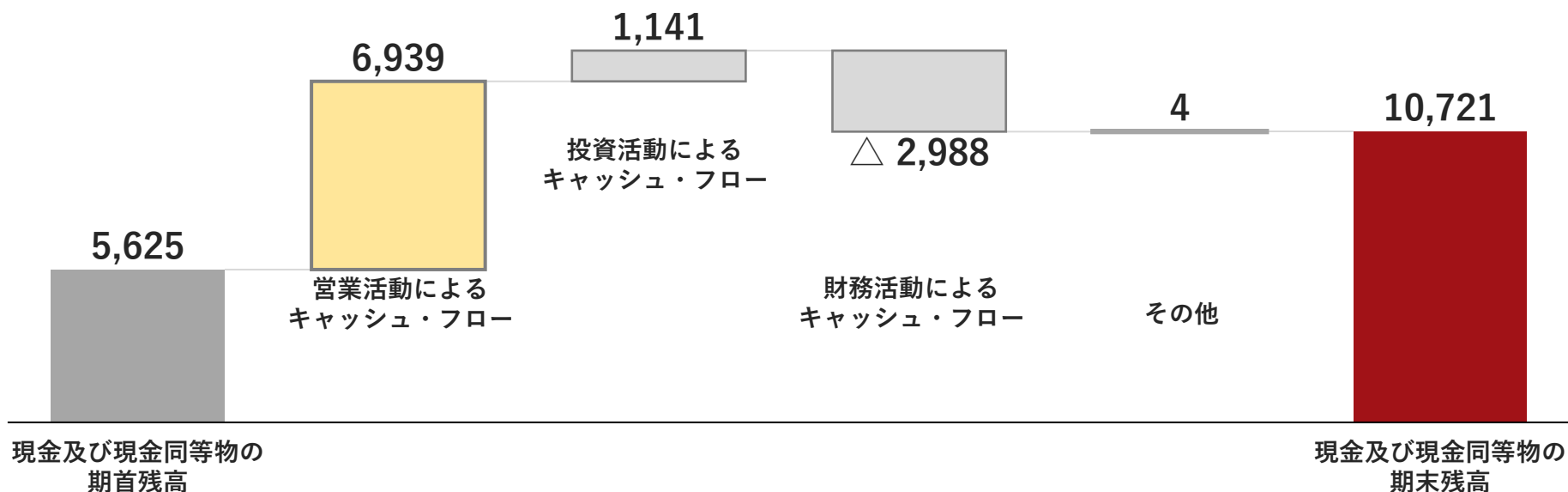
(単位：百万円)

| | | 2025年3月期末 | 2026年3月期末 | 増減額 | <主な増減項目> | |
|----------------|------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| | 流動資産 | 38,679 | 39,519 | +840 | 現金及び預金 未収入金 建設仮勘定 投資有価証券 | +2,595 △1,778 +1,041 +1,717 |
| | 固定資産 | 17,352 | 19,508 | +2,156 | | |
| 資産合計 | | 56,032 | 59,028 | +2,996 | | |
| | 流動負債 | 17,903 | 19,668 | +1,765 | 未払金 | +1,866 |
| | 固定負債 | 1,658 | 1,665 | +7 | | |
| 負債合計 | | 19,561 | 21,333 | +1,772 | | |
| 純資産合計 | | 36,470 | 37,694 | +1,224 | 利益剰余金 自己株式 | +800 △999 |
| 負債純資産合計 | | 56,032 | 59,028 | +2,996 | 其他有価証券 評価差額金 | +1,187 |
| 自己資本比率 | | 65.1% | 63.9% | △1.2P | | |

キャッシュ・フローの状況【連結】

- 現金及び現金同等物の期末残高は、10,721百万円
(前連結会計年度末比、5,095百万円の増加)

(単位：百万円)



<主な増減要因>

営業活動によるキャッシュ・フロー

| | |
|-------------|--------|
| 税金等調整前当期純利益 | +4,552 |
| 未収入金の減少額 | +1,089 |
| 棚卸資産の減少額 | +912 |
| 法人税等の支払額 | △2,527 |

投資活動によるキャッシュ・フロー

| | |
|-----------------|------|
| 連結子会社株式の取得による支出 | △458 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △698 |

財務活動によるキャッシュ・フロー

| | |
|-------------|--------|
| 自己株式取得による支出 | △1,024 |
| 配当金の支払額 | △1,962 |

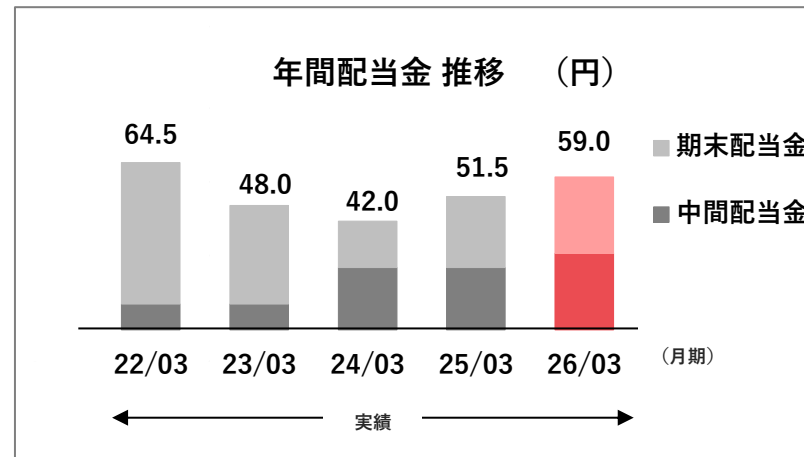
2026年3月期 1株当たり配当金

■2026年3月期 1株当たりの配当金

・2026年3月期の配当金は、以下のとおりです。

| | |
|--------------|--------------|
| 中間配当金 | 29.5円 |
| 期末配当金 | 29.5円 |
| 年間配当金 | 59.0円 |

※連結配当性向 73.1%
DOE 5.4%



※自己株式の取得を実施

取得期間 : 2025年11月5日から2026年1月13日まで

当社普通株式 : 790,000株

取得価額の総額 : 999,868,680円

2. セグメント別決算ハイライト

セグメント別業績【2026年3月期 通期実績】

ソリューション事業

(単位：百万円)

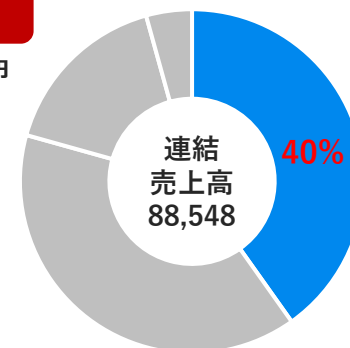
| | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|---------------|-----------------|--------|--------|
| 売上高 | 31,223 | 37,605 | +6,381 | +20.4% |
| セグメント利益 (利益率) | 889 (2.9%) | 1,570 (4.2%) | +680 | +76.5% |

決算のポイント

- ・主として物流代行の新規好調により増収
2025年6月に新たな物流拠点SLCつくばを開設
- ・不採算構造の是正（値上げ・条件変更等）により収益性が改善

売上高

単位:百万円



* 連結調整前の構成比率



株式会社スクロール360
フルフィルメント業務代行、
マーケティング支援等



株式会社キャッチボール
後払い決済サービスの提供



株式会社もしも
アフィリエイト広告・WEBマーケ
ティングサービスの提供



株式会社ビーボーン
多言語コールセンター、
翻訳サービス



ZonExpert株式会社
Amazon 専用コンサル
ティング・運用代行



成都音和網絡服務有限公司
EC業務のアウトソーシング事業、
中国市場におけるEC事業支援

セグメント別業績【2026年3月期 通期実績】

通販事業

(単位：百万円)

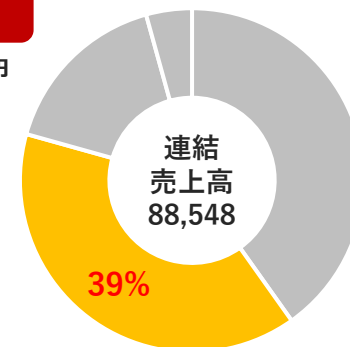
| | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|------------------|------------------|--------|--------|
| 売上高 | 38,993 | 36,662 | △2,331 | △6.0% |
| セグメント利益 (利益率) | 5,210 (13.4%) | 4,181 (11.4%) | △1,029 | △19.8% |

決算のポイント

- 顧客数減少と物価高や市場トレンドの変化を背景に、最盛期である夏～盛夏にかけて受注に苦戦
- 在庫処分や円安の影響により利益率が低下

売上高

単位:百万円



* 連結調整前の構成比率

株式会社スクロール
カタログ・インターネット
通販

株式会社スクロールイン
ターナショナル
アパレル特化型AIシステム
の提供、アパレルOEM生産

詩克樂商貿(上海)有限公司

SCROLL VIETNAM CO.,LTD.

SCROLL BANGLADESH CO., LTD.

※ 当期 (FY2025) より報告セグメント区分を一部変更しております。(FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。)

前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しています。

セグメント別業績【2026年3月期 通期実績】

e コマース事業

(単位：百万円)

| | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|---------------|---------------|------|---------|
| 売上高 | 15,281 | 15,312 | +30 | +0.2% |
| セグメント利益 (利益率) | 163 (1.1%) | 385 (2.5%) | +221 | +136.0% |

決算のポイント

- ・ ECモール内の価格競争等で収益性が悪化し、不採算事業（並行輸入事業、旅行事業）から撤退（特別損失を計上）
- ・ 一方、防災意識の高まりを背景に、防災関連商材は好調に推移



株式会社ナチュラム
アウトドア・フィッシング・
キャンプ用品のEC販売



株式会社ミヨシ
防災用品販売



株式会社キナリ
化粧品品の製造、販売



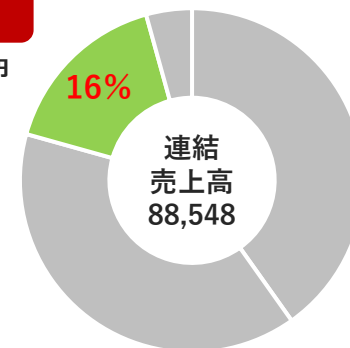
株式会社AXES
海外ブランドバッグ、
ナショナルブランドコ
スメのEC販売



株式会社トラベッ
クスツアーズ
旅行商品の企画・販売

売上高

単位:百万円



* 連結調整前の構成比率

3. スクロールグループ中長期ビジョン /FY2026経営計画

100年、そしてその先も広く社会から必要とされ続ける企業を目指して、創業90周年（FY2029）までに目指す姿として中長期ビジョンを設定

目指すべき姿を再定義

スクロールグループは、
ダイレクトマーケティングで培った
顧客理解を起点に、

ビジネスに、暮らしに、社会に、
すべての「欲しい」を解決する
企業へ進化します

Purpose

ダイレクトソリューションを
通じて時代が求める豊かな
暮らしをサポートする

Vision

人、社会、地球の欲しいを叶える
企業であること

Mission

ダイレクトソリューションカンパニー
(DSC) として、多様かつユニークで、
変化を恐れない事業体であり続ける

社是

社会から信頼される企業であること
清く、正しく、美しく事業を行うこと

2029年度（創業90周年）までに目指す姿



すべての「欲しい」を解決する

Direct Solution Company への深化

通販事業やソリューションサービスを通して、顧客と直接つながり続けることで得られたノウハウがコアコンピタンスであり、このノウハウによって最短・最適な方法（Direct）で顧客の悩みを解決することが、我々の目指すDirect Solution である。

定量目標（中長期ビジョン）

FY2025
実績

連結純利益 27.6億円

ROE 7.5%

総還元性向 109.0%



FY2029
目標

連結純利益 60億円

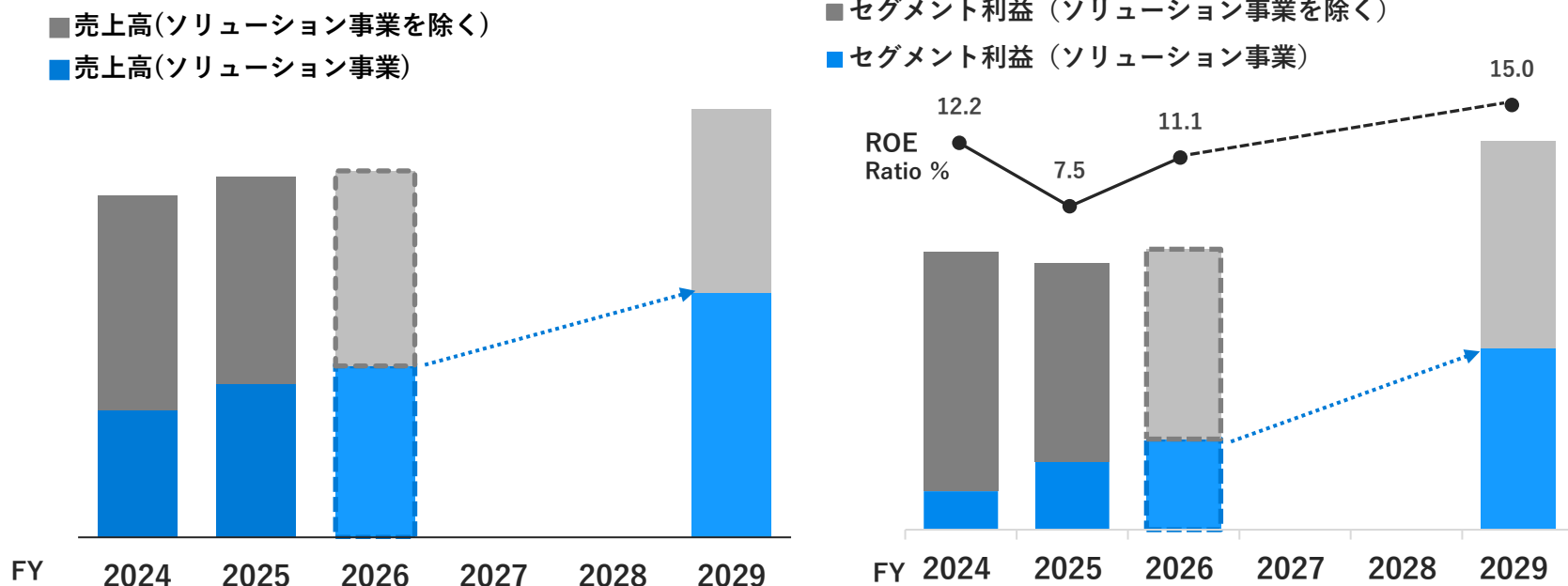
ROE 15.0%

総還元性向 60%程度

2025年度はソリューション事業の売上高が通販事業と肩を並べるまでに成長
事業ポートフォリオの転換点（クロッシングポイント）に到達

ソリューション事業を収益性の面でも次の柱として確立させる

- 徹底した顧客理解に基づく現場実行力と品質向上により稼ぐ力を強化
- M&A等を通じた新たな機能の獲得
- 不採算・低収益事業は資本効率の観点から見直し、成長分野へ経営資源を集中



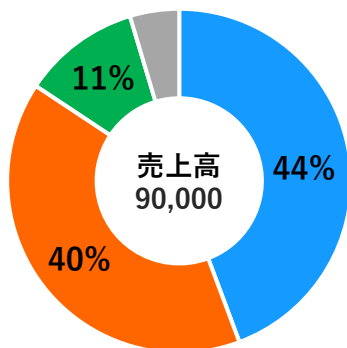
ソリューション事業と通販事業の二つの収益基盤を確立し、
相乗効果で収益の安定性と成長性を両立する事業ポートフォリオの変革を推進する。

| | | FY2025 | FY2026 | | | | | | | |
|---------------------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | | 実績 | 連結 | 前期対比 | SOL | 前期対比 | 通販 | 前期対比 | eコマース | 前期対比 |
| 売上高 | [百万円] | 88,548 | 90,000 | +1.6% | 42,100 | +12.0% | 38,000 | +3.6% | 10,500 | ▲31.4% |
| 経常利益 | [百万円] | 6,166 | 6,500 | +5.4% | 2,100 | +33.7% | 4,200 | +0.4% | 200 | ▲48.1% |
| 経常利益率 | | 7.0% | 7.2% | +0.3%pt | 5.0% | +0.8%pt | 11.1% | ▲0.4%pt | 1.9% | ▲0.6%pt |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | [百万円] | 2,768 | 4,300 | +55.3% | — | | — | | — | |
| 自己資本利益率 (ROE) | | 7.5% | 11.1% | +3.6%pt | — | | — | | — | |

FY2026 売上高/経常利益 セグメント別構成比

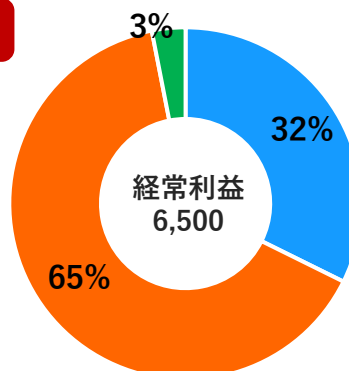
売上高

単位:百万円



経常利益

単位:百万円



■ ソリューション事業
 ■ 通販事業
■ eコマース事業
 ■ グループ管轄事業

* 連結調整前の構成比率

(1) 成長とターンアラウンドの両立による収益力の回復

■ ソリューション事業

2028年度目標・経常利益率8%に向け、収益構造を進化

物流代行



1. 収益基盤の高度化

- スペース効率追求
- 自動化による生産性向上
- 余剰リソースを成長領域へシフト

2. 付加価値型営業の強化

- 現場力からコンサルカへ
- 付加価値案件獲得
- 顧客利益への貢献

3. ブランド確立と横展開

- 成功事例の集積・体系化
- ノウハウのグループ横展開
- ブランドの磨き上げ

決済代行



1. 収益源の多層化

- BtoB市場への展開
- BPO×決済の統合提案
- 高収益領域へのシフト

2. ガバナンスと生産性の両立

- 成長と人員増のデカップリング
- 統制によるリスク低減
- オペレーション高度化 (AI・RPA)

3. 次世代インフラの確立

- 新基幹システムへの移行
- 運用コストの低減と信頼性向上
- 非連続な成長の土台

マーケティングサポート



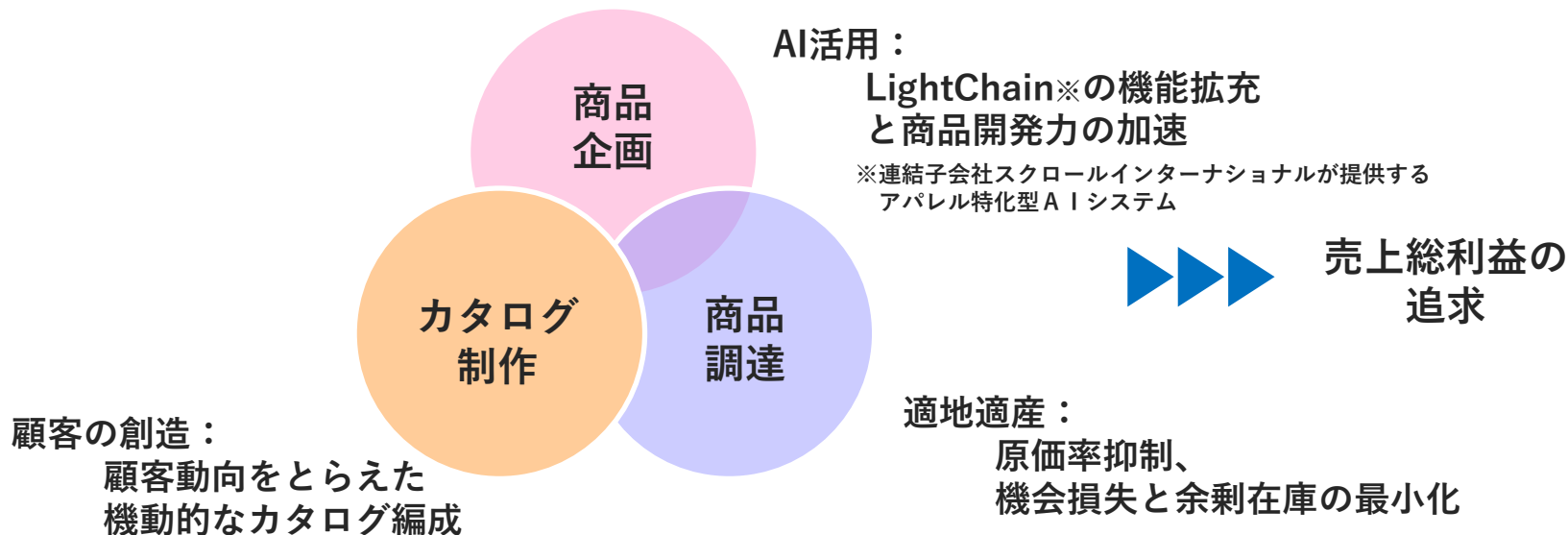
1. SNS向けサービス拡充

2. 大手広告主の個別支援および横展開による成功事例創出

■ 通販事業

中長期視点での事業構造変革の推進と収益力の回復

◎マーケット変化に適応した、環境変化に左右されない安定した利益水準を確保する



■ eコマース事業

事業撤退と事業再生を完遂

- 損失を最小化させる事業撤退の完遂
- 高収益なDtoCモデルへの転換による事業再生
- オリジナル商品の開発による新規顧客開拓とリピート顧客の育成

(2) 機動性のあるResponsibility経営の推進

1. 資本効率（ROE等）を意識した経営と株主還元への取組みを加速する

- 事業ポートフォリオ最適化と余剰資本分配によるROE向上
- 総還元性向目標に対しての適正な配当方針と機動的な自己株取得の実施
- 成長ストーリーの浸透とCGコード改訂への適切な対応

2. 事業活動を通じ、環境配慮・脱炭素社会に向け、継続的に取り組む

- 環境・社会問題に配慮した商品開発および調達
 - 2030年度までにSDGs関連商品構成率 **50%**（アパレル商材）
- 包装資材におけるプラ素材の削減
 - 2030年度までに**65%**削減（2021年度対比）
- 紙の使用量削減
 - 2030年度までに**25%**削減（2021年度対比）
- CO2削減に向けた取組み
 - 2030年度までに**50%**削減（スコープ2：オフィスおよび物流施設）

3. 「個力」を磨き「チーム力」を最大化する自発的なタスクダイバーシティ経営を推進する

- 現場経験を重視したキャリア開発を促す人事教育制度の活用定着
- 多様な知見の融合によって「顧客起点」の付加価値を創出するグループ内交流の促進
- 挑戦を推奨・評価する風土醸成と、女性活躍・柔軟な働き方の定着による「組織活力」の強化

4. キャピタルアロケーション方針 /株主還元方針



戦略投資枠の位置づけ

事業機会やリスクに対して、非連続的な成長を実現するためのM&A

成長投資の考え方

既存施設の維持更新、物流施設の増床、効率化や基盤強化に資する支出

株主還元方針

短期的、非経常的な損失に左右されない、中長期的な還元ベースの拡大と株主へのコミットメント

株主還元について（2026年5月7日発表）

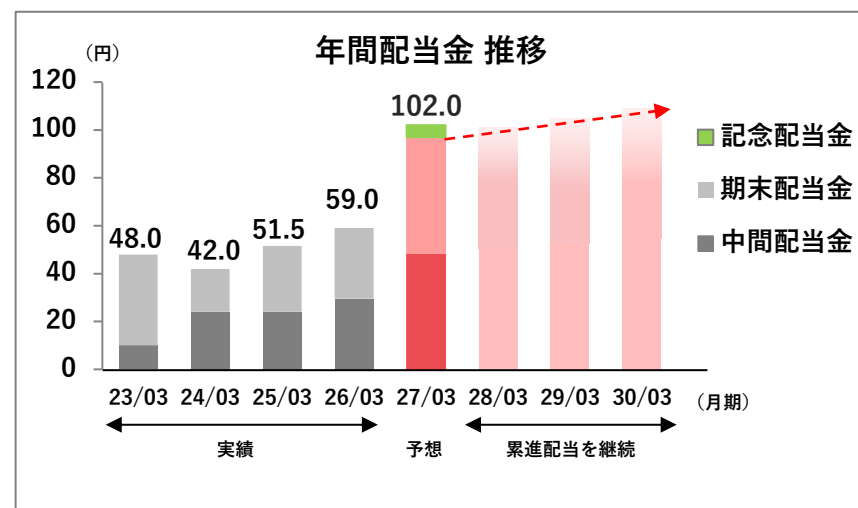
■株主還元に関する基本方針（2027年3月期以降）

- ・ 当社は、ROE重視の経営を推進し、直接的な利益還元と中長期的な株主価値の最大化を目指しております。
- ・ 中長期ビジョン（2029年度）に掲げるROE15%以上の達成に向けて、連結配当性向60%または連結純資産配当率（DOE）8.5%のいずれか高い方を基準とした累進配当を実施してまいります。
- ・ 企業価値最大化を目的とした成長投資と安定的利益配分を実施したうえで、さらに追加還元の余地がある場合は、機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆さまに還元してまいります。

■2027年3月期 1株当たりの配当金（予想）

| | |
|------------------|---------------|
| 記念配当金（中間） | 2.5円 |
| （期末） | 2.5円 |
| 中間配当金（予想） | 48.5円 |
| 期末配当金（予想） | 48.5円 |
| 年間配当金（予想） | 102.0円 |

※東証一部市場（現プライム市場）上場40周年として記念配当を実施



■株主優待制度について

- ・ 配当等による利益還元を充実させていくため、2026年3月31日時点の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様への優待のお届けをもちまして、本制度を終了いたします。

Appendix

- ・ 事業セグメントおよび事業概要
- ・ 新しいコーポレート・アイデンティティ/キービジュアル
- ・ 会社概要

EC・通販事業者を360度サポートする「ワンストップソリューションサービス」を提供しています。

ソリューション 事業



主に生協宅配事業の組合員様向けに通信販売（カタログ・一部インターネット）を展開しています。

通販事業



詩克樂商貿（上海）
有限公司

SCROLL
VIETNAM
CO.,LTD.

SCROLL
BANGLADESH
CO.,LTD.

主に自社サイトやショッピングモールを通じて、専門特化した商品のインターネット販売を行っています。

eコマース事業



木草花
果
SORAMOCCA

AXES

全国各拠点の物流センター運営、不動産の有効活用の機能を担っています。

グループ管轄 事業



※当期（FY2025）より報告セグメント区分を一部変更しております。
（FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。）

すべての「欲しい」を解決する。

顧客ニーズに応える「最短・最適」なソリューション

すべての「欲しい」を
解決する。



Direct Solution Company
scro|

すべての「欲しい」を解決する。

scroll

Direct Solution Company

株式会社スクロール（Scroll Corporation）

本 社 : 静岡県浜松市中央区佐藤二丁目24番1号

代表取締役社長 : 鶴見 知久

設 立 : 1943年（昭和18年）10月1日

証券コード : 8005（東京証券取引所プライム市場）

資本金 : 6,229百万円（2026年3月31日現在）

主な事業内容 : EC・通販事業者等へのソリューション事業
アパレル、雑貨等のEC・通販事業



お問合せ窓口

経営統括部 経営企画課

TEL : 053-464-1114 (直通)

E-mail : ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <https://www.scroll.jp/>

■将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。